

【国際交流】ドイツ・フレセニウス大学の学生 15 名が本学に研修に訪れました

平成 29 年 2 月 15 日から 24 日の 10 日間、ドイツ・フレセニウス大学の学生 15 名が、本学に研修に訪れました。

本学とフレセニウス大学は、平成 24 年度から理学療法学科学生の相互派遣研修を行っており、今回が 5 回目の来日研修です。昨年 9 月に本学学生がドイツを訪れた時に交流した学生が中心となって来日しました。

今回の研修では、角田病院、前橋市老人保健センター、県立小児医療センター、県立心臓血管センター、本学附属クリニックの見学し、日本の医療・理学療法の実態を学びました。また日本文化体験として、華道、茶道や餅つき、書道、空手体験、和太鼓等も体験しました。さらに日独学生混成のグループで両国の生活様式について話し合い、それぞれの動作に対する自助具作成をグループで行い、プレゼンテーションを実施しました。学生の創意工夫が見られ、両国教員も感心させられました。理学療法という共通言語を通じて、両国共通の思考過程、各国に特徴的な考え方について学ぶことができました。

本学の国際交流プログラムとして 5 年間継続してきた両国の交流は次のステップとして、2016 年 9 月より本学より 1 名の教員が 1 年間フレセニウス大学に赴き、教員交換という形での交流が始まっています。今後は先方より教員が来日し、本学にて教鞭を取る予定です。本学のグローバル化を高めていく上で、非常に有意義なステップアップだと期待しています。

高崎健康福祉大学とフレセニウス大学は、今後とも交流を発展させていきます。

* 本研修は日本学生支援機構の留学生支援制度(短期受入れ)に採択され、奨学金を得て実施されました。



文化体験：華道



授業風景： 傷害予防に対する理学療法



施設見学： 前橋市老人保健センター



東京観光： 浅草寺